

発がん性試験と遺伝毒性試験

発がん性試験

農薬を2種類以上のほ乳類動物(マウス、ラット)にその動物のほぼ一生にわたる期間(通常、マウスで18ヶ月以上24ヶ月以内、ラットで24ヶ月以上30ヶ月以内)投与することにより、発がん性を示すか否かの情報を得ることを主な目的とした試験。

(発がん性が見られた場合には、追加試験等によりその機序を検討する)

遺伝毒性試験(変異原性試験)

細菌、培養細胞、ラット・マウス等を用いてDNAに影響を与え、遺伝子突然変異や染色体異常を起こす性質があるかどうかを調べることを目的とした試験。